

みずほCustomer Desk Report 2019/08/30号(As of 2019/08/29)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.04
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	106.08	1.1085	117.61	1.2217	0.6740
SYD-NY High	106.68	1.1093	117.93	1.2232	0.6753
SYD-NY Low	105.83	1.1042	117.28	1.2172	0.6717
NY 5:00 PM	106.52	1.1057	117.80	1.2182	0.6730
NY DOW	26,362.25	326.15	日本2年債	-0.3100	▲1.00bp
NASDAQ	7,973.39	116.51	日本10年債	-0.2900	▲1.00bp
S&P	2,924.58	36.64	米国2年債	1.5240	2.50bp
日経平均	20,460.93	▲18.49	米国5年債	1.3955	2.20bp
TOPIX	1,490.17	▲0.18	米国10年債	1.4945	2.77bp
シカゴ日経先物	20,705	190	独10年債	-0.6970	1.40bp
ロンドンFT	7,184.32	69.61	英10年債	0.4340	▲0.70bp
DAX	11,838.88	137.86	豪10年債	0.8715	▲0.95bp
ハンセン指数	25,703.50	88.02	USDJPY 1M Vol	7.88	▲0.26%
上海総合	2,890.92	▲2.84	USDJPY 3M Vol	7.81	▲0.05%
NY金	1,536.90	▲12.20	USDJPY 6M Vol	7.60	▲0.06%
WTI	56.71	0.93	USDJPY 1M 25RR	-1.66	Yen Call Over
CRB指数	172.08	0.88	EURJPY 3M Vol	8.28	0.00%
ドルインデックス	98.51	0.30	EURJPY 6M Vol	8.04	0.06%

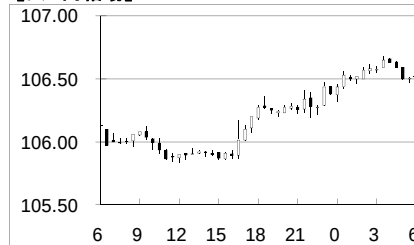
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月29日	21:00	独 GPI(前月比・前年比)・速報	8月 -0.2%/1.4%	-0.1%/1.5%
	21:30	米 GDP(年率・前期比)・二次速報	2Q 2.0%	2.0%
	21:30	米 個人消費・二次速報	2Q 4.7%	4.3%
	21:30	米 コアCPI	2Q 1.7%	1.8%
	21:30	米 PCE(前期比)・二次速報	2Q 215k	214k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	-

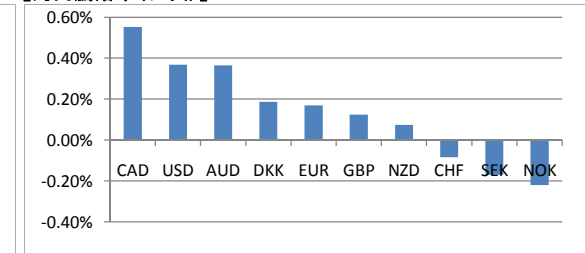
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月30日	15:00	独 小売売上高(前月比)	7月 -1.3%	3.5%
	18:00	欧 失業率	7月 7.5%	7.5%
	18:00	欧 コアCPI	8月 1.0%	0.9%
	18:00	欧 CPI予想(前年比)	8月 1.0%	1.1%
	21:30	米 個人所得	7月 0.3%	0.4%
	21:30	米 個人支出	7月 0.5%	0.3%
	21:30	米 PCE(前月比・前年比)	7月 0.2%/1.6%	0.2%/1.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 92.3	92.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.20-107.20	1.1000-1.1100	117.10-118.30

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は上伸。中国商務省から9月に予定されている米中閣僚級貿易協議に前向きな発言があったことで、米中通商協議の進展期待からドル円は上昇。トランプ米大統領からも中国との貿易協議を「これまでと異なるレベルで再開する」との発言もあり、米中対立の懸念が後退、ドル買いが進み、一時106.68円まで上昇した。

本日のドル円は上昇を予想。米中通商協議への懸念が一旦後退したことから市場はリスクオンムードが強まっている状況。月末に絡む実需のフローも相応に見込まれることから、ドル円は上昇基調が継続するものと考えられる。

アジア	東京時間、106.08レベルで取引を開始したドル円は米長期金利が1.45%を割り込んだことから一時105.83まで下落。その後、やや反落していた日経平均株価が値を戻すも、ドル円は106円台を試す展開とはならず105円台後半での推移となり、105.91レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.91レベルでオープン、LDN朝方に中国商務省から「米中は9月の訪米で議論している」とのコメントが流れると市場はリスクオンムードに転じ、ドル円は上昇。一時106.36まで買われる局面もあったが、結局106.28レベルでNYに渡った。本朝ドルは1.2214レベルでオープン、EU離脱関連の目新しい材料に欠けるなか、狭いレンジで横ばい。結局1.2217でNYへ渡った。
ニューヨーク	中国が米国に対する報復措置を取らないことを示唆したこと、リスク志向を背景に海外市場のドル円は106.36まで戻し、106.26レベルでNYオープン。NY朝方は米第2四半期GDP(2次速報)は2%と予想と一致するが、構成指数の個人消費が予想を上回る伸びとなり、106.40まで上昇。その後一旦下押しする局面もあったものの、トランプ大統領が遠くベルギーでの中国との協議があると発言したこと、米中通商協議進展期待に106.47まで続伸。NY10時に発表された米7月中古住宅販売契約は予想を下回ったものの、米中通商協議に対する期待からその後もドル買いが継続し、106.50を抜け、NY午後に入ると高値106.68まで上昇する。NY終盤に掛けては本日の米中通商協議に関するニュースが見当たらない中、ドル円は調整から小緩み、106.52レベルでクロスした。一方、米中通商協議強化に対する懸念が後退し、海外市場でドル買いが優勢となったことからユーロドルは1.1070まで下落し、1.1075レベルでNYオープン。NY朝方は11月に次期ECB総裁に就任するウラウ・氏が「ECBには幅広い手段がある」と話したこと、ユーロ売りが強まり、1.1055まで下落するが、クワット・オランダ中銀総裁が「現時点でQEを再開する必要はない」と話したことが伝わり、一時的に1.1093まで反発。しかし、米中通商協議進展期待からドル買いが強まり、ユーロドルは安値1.1042まで下落。NY終盤に掛けては調整から値を戻し、1.1057レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：大熊・田家